

第3回日カンボジア二国間フードバリューチェーン対話

1 概要

開催日、場所：平成30年1月24日、プノンペン

概要： カンボジアにおけるフードバリューチェーン(FVC)構築のため、政府間対話及び官民フォーラムを開催。政府間対話において、①両国は、今後重点的に進めていく取組の分野・方向性を記載した「対応の骨子」案に合意(主な内容は、農産物の多様化を重視しつつ、農業生産性の向上、農産物の安全性等の向上、付加価値の向上を推進すること)。また、②両国官民の取組が含まれた統一的な取組表を作成することを確認。さらに、③カンボジア農林水産省に設置された相談窓口を活用しつつ、ビジネス環境を更に改善するようカンボジア側に要請。官民フォーラムでは、FVC構築に資する事例として両国の民間企業が積極的に取り組んでいる活動状況を発表。現地視察：両国企業間のマッチングを促進するため、以下のとおり現地で活動中の企業・組織を訪問し、ビジネス等の現状及び今後の展望を聴取。

- ・【日】(株)スペック：食品関連の検査管理業務等を行う企業。日本の食品加工業での技能実習予定のカンボジア人を対象とした衛生管理に関する研修をビジネスとして実施。また、Cam-GAPの認証制度の実用化に向けた活動を実施中。
- ・【柬】SOMA Farm：プノンペン近郊に3か所(合計約600ha)の農場を所有し、果実、畜産品、蘭を生産。蘭は輸出もしており、鶏卵の輸出も検討中。
- ・【柬】王立カンボジア農業大学：JICA、名古屋大学との提携により米焼酎・醤油などの加工食品を製造。日本企業との連携によるセリシン(絹タンパク質)の生産。

2 出席者

日本側： 山口農林水産省大臣官房国際地域課長、堀之内在カンボジア日本国大使(冒頭挨拶のみ)、JICA、JETRO、21の農業・食品関係及び物流関係企業の代表

【発表を行った企業】(アルファベット順)

JC Holdings(農業関連事業勉強会代表)、クラタペッパー、三井物産(カンボジア日本人商工会(JBAC)会長)

カンボジア側： ヴェーン・サコン農林水産大臣(冒頭挨拶のみ)、サン・バンティ同省次官補、経済財政省(関税消費税総局)、商業省、開発評議会、最高国家経済評議会、工業・手工芸省、水資源気象省、公共事業・運輸省、5の農業・食品関係及び物流関係企業等の代表

